

第3ステージを加速化するための取組

国土交通省 道路局
企画課 評価室
令和6年6月

「道の駅」第3ステージとは何か

- 第2ステージと第3ステージは、「道の駅」が単なる「休憩場所」を超えて地方創生や観光の発展につながるものという点は共通する。
- 第2ステージは「道の駅」を魅力的にすることにより、結果として地方創生に導く取組であることに対し、第3ステージは「まち全体」を中心にコンセプトを共有し、「まち」と「道の駅」が戦略的に一体で進める取組である。

中心的な課題意識

コンセプトの立て方

地域の発展の姿

第2ステージ

「道の駅」の発展

「道の駅」の
魅力を高める
コンセプト

地方創生
・
観光



「道の駅」

防災

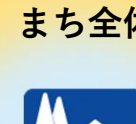
「道の駅」の取組が結果として「まち」に波及することもある

第3ステージ

「まち」の発展

「まち」全体の
魅力を高める
共通コンセプト

地方創生
・
観光



「道の駅」

防災

まち全体

戦略

戦略

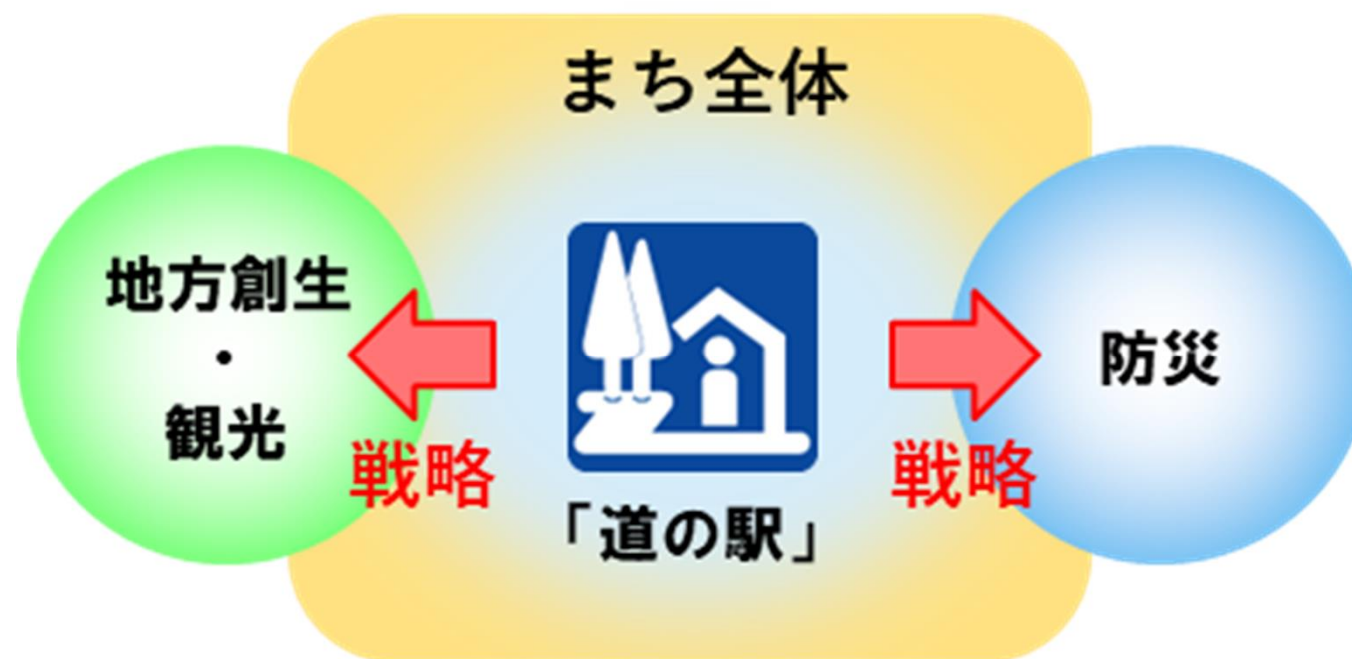
「まち」と「道の駅」が戦略的に一体で発展 3

「道の駅」第3ステージとは

「まち」と「道の駅」が一体で戦略的に連携してコンセプトの実現を成し遂げる取組


「道の駅」単体からまちぐるみの戦略的な取組へ


- 第3ステージの取組は、「道の駅」単体でなく、まちぐるみで進める必要
- まち（市町村）の目指すものと、「道の駅」の目指すものが合致している必要
- 戦略的なしかけにより、まちと「道の駅」の双方が共通の意志を持って取組を進めることが重要



（概念図の意味）

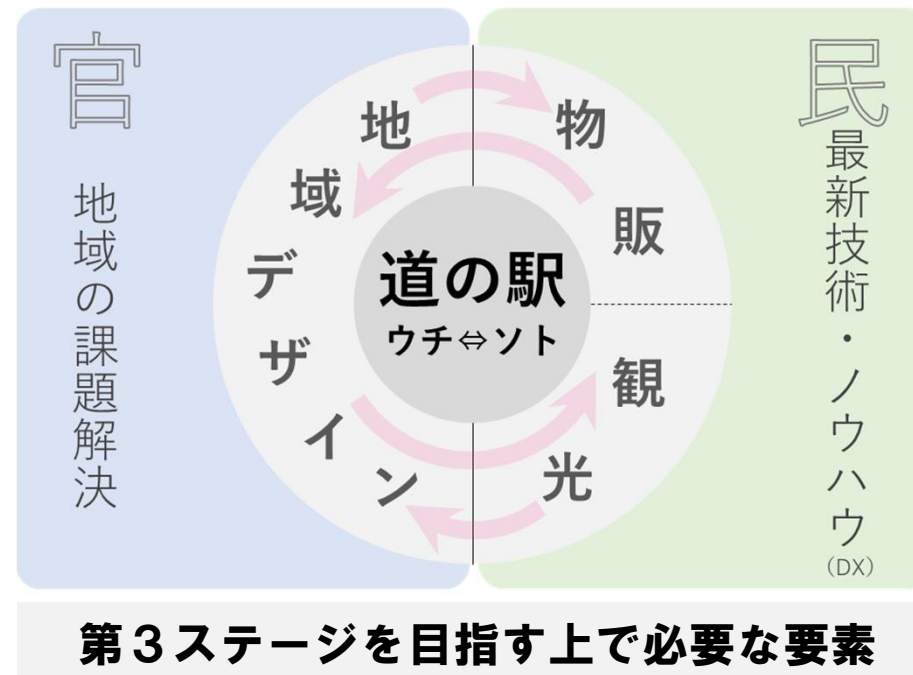
住民や多様な関係者を含む「まち全体」の視点をもとに、
「まち」と「道の駅」が互いに影響しあい、双方が共通の意志を持って戦略的に取組を実施

	第2ステージ 「道の駅」そのものの発展が主眼	第3ステージ 「まち」と「道の駅」が一体で戦略的に発展
地方創生 ・ 観光	<ul style="list-style-type: none"> 「道の駅」中心の検討体制 「道の駅」の盛り上げが施策の中心 ※ 結果的に、地域の課題解決につながる場合もある	<ul style="list-style-type: none"> 顧客視点での魅力分析 まちぐるみでの徹底した議論 地域全体の価値を再定義し、戦略的なしなかけを構築して「道の駅」で体現 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <div style="background-color: #002060; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 省庁横断での支援 全国連絡会の支援 </div> </div>

防災	<ul style="list-style-type: none"> 「道の駅」単体の防災機能強化 災害時の機動的な支援のための「道の駅」の活用 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">  <div style="background-color: #002060; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 災害時に国の意志が反映できる体制強化 </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 「道の駅」のネットワークによる広域的な支援活動への対応 高付加価値コンテナの活用による機動的な災害支援
----	---	--

モデルプロジェクトからの知見と 新たな支援の仕組み

- 第3ステージのエッセンスを具現化するため、モデルプロジェクト(もてぎ、とみうら)の中でその実現プロセスを検証
- 本日は特に「もてぎ」を事例として、第3ステージ推進のための課題を抽出



①顧客視点
(顧客の可視化)

②「みんなごと」体制
(チーム化)

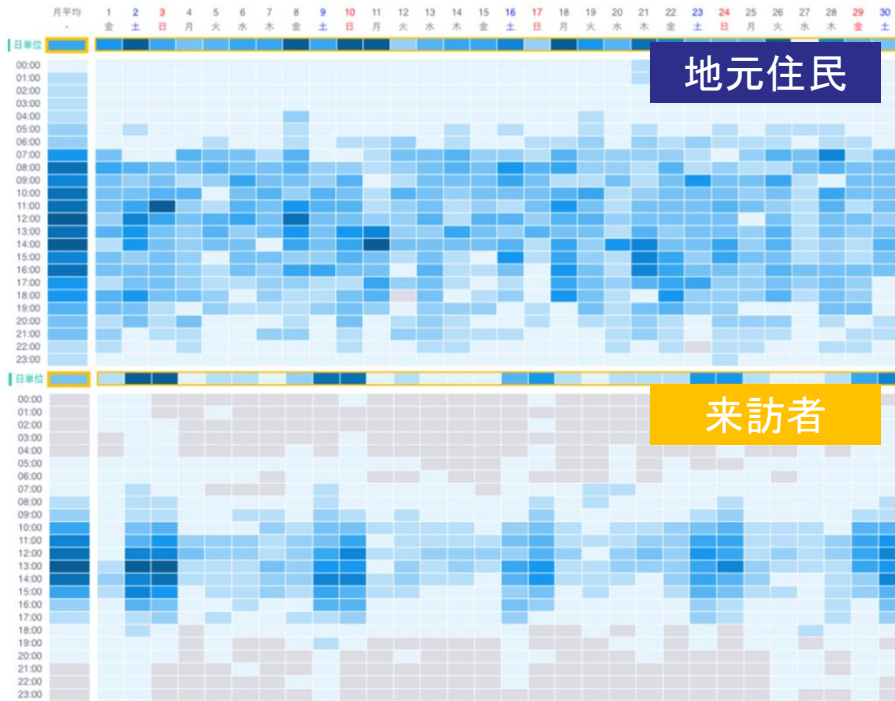
③地域価値の再定義
(ブランド化)



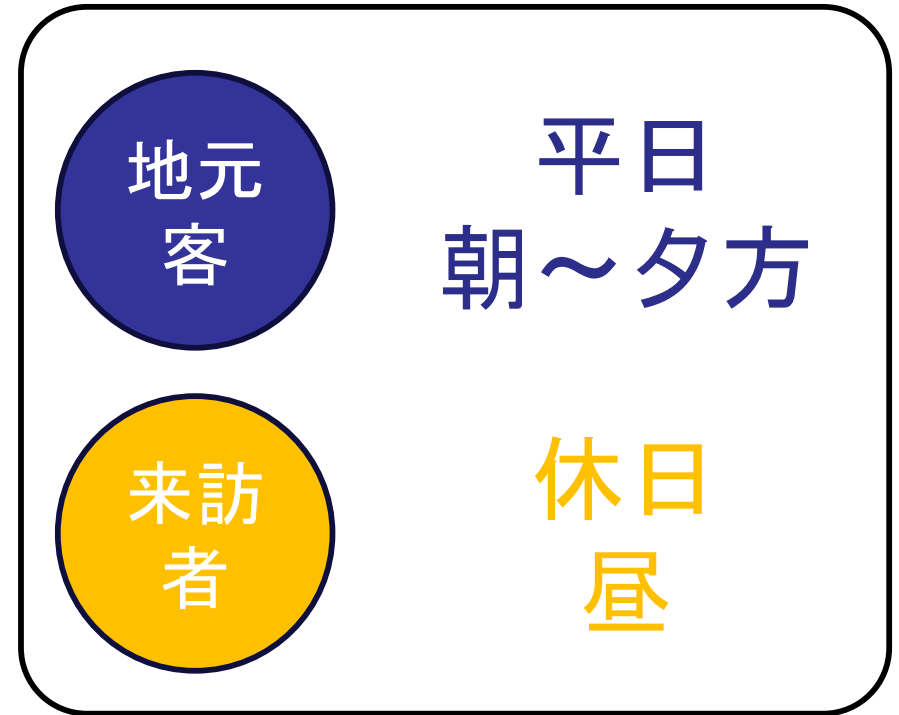
ICT・データのパワーを借りた顧客分析、自治体×道の駅×住人による議論を経て、地域の目指すコンセプトを策定

web検索データ・携帯電話位置情報を活用した 本格的なマーケティング分析

日別・時間帯別の来訪データ



主な
来訪時間帯



出典:Yahoo!DSインサイトデータ

細やかなターゲティングによる販売戦略

移住の相談を「道の駅」で



※イメージ

茂木町への移住相談窓口を
役場ではなく「道の駅」に設置

※リニューアルの中で検討中の内容

従来の「道の駅」の
領域を越えた機能付加



「道の駅」、町役場、茂木高校の生徒など

垣根を越えた
議論によるアイデア

コンセプトを町ごとアップデート



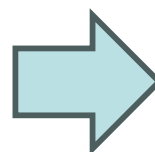
「道の駅」の新たなコンセプトを
茂木町のコンセプトとしても設定



今後のリニューアルでは
「道の駅」の中心に
「まち」の魅力を発信する場を設置

「道の駅」空間で
「まち」を体現

顧客視点の
データ分析



「まち」に期待される
魅力を知る

まちぐるみの
「みんなごと」体制



「道の駅」だけでは出ない
「まち」に必要なアイデア

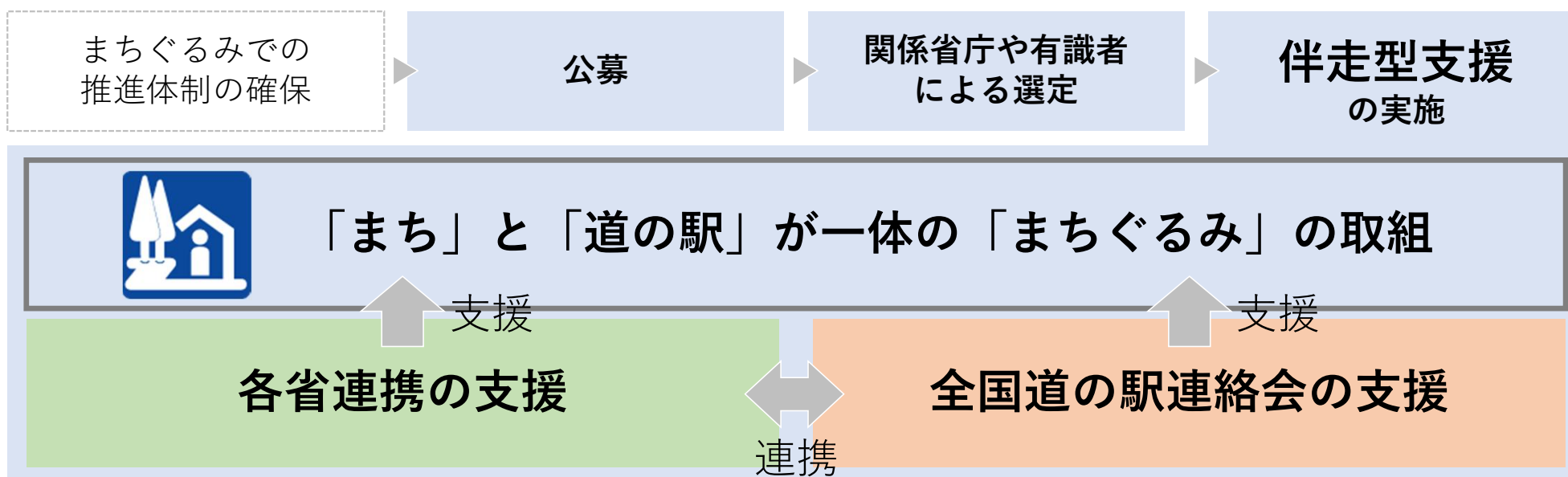
地域価値の
再定義



「まち」と「道の駅」が
一体で目指すものを設定

- 第3ステージのポイントである「まちぐるみの戦略的な取組」の実現に向けて取り組む自治体と「道の駅」に対し、関係省庁一丸での支援を推進するための制度を構築

『(仮称)「道の駅」第3ステージ応援パッケージ』のイメージ



【支援内容のイメージ】

予算

関係省庁が連携した
重点的な予算配分

計画策定

全国道の駅連絡会による
アドバイザー派遣

運用

柔軟な施設の
配置や活用